



2002 年 11 月発行  
 発行人：堺 充廣  
 発行所：神戸市中央区海岸通 8  
 神港ビルヂング 5 階 509  
 T E L : 078-393-0050  
 F A X : 078-393-0051  
 E-Mail : [kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
 U R L : <http://www.kobekeio.org/>  
 編 集：堀 友子・八巻 晤郎

～ 10 月例会レポート ～

城口 隆 (昭 56 経)

10 月 25 日 (金) 午後 6 時に三宮東急イン前から、本日の例会送迎の為に購入した (中内氏曰く) という真新しいマイクロバスに、定員一杯の 26 名の会員が乗り込んで一路有馬温泉へ。



わずか 35 分で会場の VIVI 有馬に到着すると、既にゴルフ組は浴衣姿で大宴会中。バス組もさっそく有馬温泉で唯一のラドン

温泉の大浴場でしっかり暖まり、一刻も早く冷たいビールが飲みたいと、例会場に勢ぞろい。その雰囲気を知った司会の内山氏が時間通り開会し、和田会長のくださった挨拶が勢いを付け、浴衣に上掛け、二間をぶち抜いて口の字に座った出席者 40 余名を見据えて立ち上がった青戸女史が「山賊の女頭目になった様だ」との乾杯の発声で一気にブレイク。

ちょっとだけ堺幹事長の会務報告があったようでしたが、多分誰の記憶にも残っていないだろう



と思います。その理由は、今回の会場のオーナーである中内氏が、「酒は全部任せろ」との太っ

腹な一言でビール・お酒・ウイスキー等がふんだんに出されて、私自身もこんな登録料でいいのかなあという遠慮さえもあつという間に吹き飛んでしまったからです。でも料理一品ずつがおいしいなあという記憶はしっかりと舌に記憶されました。

2 時間半の例会はあつという間に過ぎ去り、日帰り組だった我々を乗せたバスを玄関先で泊まり組の皆さんが万歳三唱で見送る中、後ろ髪を引かれる気分で湯の町を後に再び新神戸トンネルを通過して三宮に戻り解散しました。

今回お世話になった中内氏が、送迎ではスーツ姿、例会場では浴衣姿と公私のけじめを付けて行動された様子を拝見し、楽しい中にも分別のある三田会を楽しませていただきました。



毎月の例会のアルバムを、倶楽部ルームに掲示しております。ご希望の方には、プリントいたします。(無料)

お気軽にお立ち寄りください。

(開室時間は通常は 11 時から 3 時までですが、来室の前にお電話でご確認ください。)

『 峠の会 』



森本 周子（昭二十五文）

ともなった。

次回三回目は、村尾会員の御夫君、村尾澤夫氏（大阪府立大学名誉教授）に登場していただき、農芸化学、バイオの専門分野のご研究を素人にも分かりやすく面白い解説をお願いすることになった。

二〇〇二年十一月二十五日（月）午前十一時から午後二時迄、ノボテル甲子園（元甲子園都ホテル）にて開催の予定。

「峠の会」では小規模なりに、ぼつぼつKL A以外のビジターに呼びかけて、ご来場を願う声大きい。

ここで、当倶楽部会員でもある多田智満子さん（昭二十九文）から、「峠の会」に俳句を寄せて戴いたのでご紹介したい。

青葉してよき茶屋ありし峠かな  
湧き水の清きを汲まむ峠道  
山笑ひ老いの足どり重からず



明治三十九年に発表した「草枕」は漱石の初期の作品で、短篇としておよそ二週間位で書き上げたと言われている。

特に「草枕」は現代に至る迄、作中の文章が多く有名な作家、評論家によって引用され、一般に普及している。

「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。」

\* \* \* \* \*  
の冒頭の文句、画家として旅に出た主人公が足下に雲雀の声を聞き、シェリーの詩を思い出し暗誦し、のちに一服する「峠の茶屋」は芳野鳥越の峠であった。

「漱石が名づける非人情の境地は、西洋芸術より出世間的な詩味を大切にす東洋芸術により多く含まれているという主張に注目してみる必要がある」と伊藤整氏が、近代文学鑑賞講座で述べているように、東洋の詩味にも通じた作品は、人間理解の一つとして、「峠の会」命名の動機

耳馴れぬ『峠の会』とは、KL A (No. Ladies Association)の中の三人（村尾・山口・森本）が新たに同好会の一つとして、本年六月に発足させたグループの名称である。

第一回は、我が家の近く西田公園の中にある万葉植物園に於いて、夫、森本浩（元武田薬品研究所長を経て、神戸学院大学教授、現在無職）をボランティア的ゲストスピーカーとして、「万葉集の植物の薬用について」と題する極めて気楽な話をして貰い、昼食後苑内の見学を行った。

第二回は、八月二十九日、西宮の酒蔵通にある「日本盛煉瓦館」に於いて、「峠の会」命名のきっかけとなった漱石の「草枕」を古典再読という形で出席者に読んで貰い、感想を述べ合ったのである。

# 会員だより

## ホッケー

鍛冶川直広 (平 14 法)

ホッケーというスポーツをご存知ですか？アイスホッケーやラクロスとも違う、「ホッケー」です。

ホッケーは 11 対 11 のプレイヤーがスティックでボールを操り、ゴール数を争うサッカーに似たスポーツで、私は高校よりずっと体育会部員としてホッケーに親しんできました。

日本では今から約 100 年前の 1906 年に慶應義塾大学に伝わり、現在では国体やオリンピックの正式競技となっています。

日本においてホッケーはマイナースポーツですが、実は世界で 2 番目に競技人口の多いスポーツなのです。ホッケーが国技となっているインドやパキスタンでは、ブラジルの子供がサッカーで生きていくように、ホッケーで生計を立てています。さらに日本に複数存在するホッケーの街では、普通の家庭でお父さんと子供がキャッチボールをするように、ホッケーで家族サービスが行われていたりするのです。

こんなホッケーに、もし興味を持たれた方は、是非！私までご連絡くださいませ。



## 私の思い出スポット ～～祥福寺～～

堺 充廣(昭 53 法)

兵庫区五宮町にある祥福寺は、臨済宗妙心寺派の寺院で、禅道場を開いていることでも有名な名刹です。ポートピアホテル屋上からの朝日放送の映像で、ポートタワー越の山腹に三重の塔が見えるのをご覧になった方も多いかとも思います。その三重の塔があるのが祥福寺です。

祥福寺は、私の実家から幼児の足でも 20 分程度の位置にあったため、幼稚園の遠足やプライベートで、何度も境内に遊びに行っていました。寺は木々に囲まれ、秋にはきのこやどんぐり採り、冒険好きの幼児だった私は、長時間一心に遊んでいたことを覚えています。

この 6 月、故佐藤國吉さんの葬儀が行われたのが祥福寺で、40 年ぶりに訪れました。ところが何か以前の印象と異なるのです。中々石段と茶色い山門が見えてこないのです。「あれっ？」と思いながらもさらに歩いていると、やはり幼いころに持っていた印象と異なるのです。正確かどうかははっきりしませんが、私の記憶では、寺の周りももっと木が多く、民家は山麓線寄りに建てただけだったような気がします。山門付近に来ると、寺のすぐ前まで民家が建っていましたし、東側には鉄骨作りの会館が建っていました。元々、五宮町というのは住宅街で、住宅が密集している地域でしたが、そんな中にありながら、うっそうとした森に溶け込み、重厚な雰囲気具备了ところが祥福寺の特長だったように覚えています。自然の中に同化したというか、山という自然と寺という構築物が見事に調和していたため、幼い私の記憶にすんなりと溶け込み、心地よい場所として記憶に残っていたのだと思います。

私は、神戸生まれの神戸育ち、生粋の神戸人です。神戸をこよなく愛し、いつかは神戸に戻り、神戸の役に立ちたいという気持ちを持ち続けていました。5 年前、裁判官を退官し、神戸に戻ってきたのもそんな思いからでした。震災から 7 年が経ち、街は相当程度復興してきたと思います。しかしながら、昔の神戸を知る私にとって、復興後の神戸の街は何か違う印象を持っています。

祥福寺周辺は比較的震災の影響を受けなかった場所ですので、今回私が感じた違いは、単に 40 年の歳月を経た都市化の結果だと思っています。ノスタルジーを感じるにはまだまだ若い私ですが、心の中にある神戸を思い起こし、これからの神戸を考える機会にしてみたいと思っています。

会員の皆さんは、それぞれの神戸・芦屋・西宮のイメージをお持ちでしょうか。

### 編集部よりお願い

皆さま、どしどし原稿をお寄せください。順次、誌面で紹介したいと思います。

堀 友子  
八巻晤郎



# 同好会だより

## 絵画同好会

10月19日(土)は絵画同好会の皆さんがとても楽しみにしていたスケッチ会でした。

前日の雨も、会員の祈りが通じたのか小降りになり、時折薄日がさすほどでビルの軒下やガード下を探してスケッチをしようという勇者が3名おられました。残りのメンバーは少々軟弱で梅地先生が持ってこられた「ざくろ」や八巻幹事に用意していただいた「柿」をいつもの通り倶楽部ルームで描くことにしました。

村田先輩は「神戸税関」、天木先輩は「メリケン辺り風景」、出口先輩は梅地先生ですら上手く描けないという「十五番館」に挑戦、大丸への買い物客のギャラリーに取り囲まれての大奮闘でした。

結果はやはりスケッチ組みは3人とも「これまでにない素晴らしい出来」と梅地先生から賞賛を受け、やはり意気込みの差が感じられました。

お昼は恒例となった寺本先輩にご無理をお願いした淡路屋の特製二段重ね弁当を(格安なお値段で)倶楽部ルームで頂きました。これがスケッチ会のもう一つの楽しみなのです。寺本先輩いつもありがとうございます。(記事: 芦原直哉)

## 今月の絵



天木 明(昭40商)

## PC同好会“PCよもやま話”

私のパソコンはWindows 95しか使えない4年前に娘が買った代物である。そんな古いパソコンで、私が今一番はまっているのが、35mmカメラで撮ったネガフィルムを写真店でCD(デジタル)化してもらい、手持ちのプリンタで写真にすることである。(現像に出すとき、CDに落として下さいといえは500円でやってくれます。)

このCDには写真メ-カ-独自の写真加工ソフトがついているのでそれを利用して、『お気に入り写真アルバム』を編集し、スライドでみたり、印刷して写真帳を作ったり、メールに添付して送ったりして楽しんでいる。プリンタ-購入時に付属していた『写真プリントソフト』を起動させて、上記CDの画像を一旦これに全部取り込み、このソフトで色々画像処理した上で印刷すれば面白さは倍増する。皆さんも手持ちのパソコンで玄人並みの写真作成を楽しんでみては如何でしょうか?

(記事: 池田雅彦)

## ゴルフ同好会

いよいよ今日は神戸慶応倶楽部のゴルフコンペ。ゴルフ同好会幹事の近藤先輩からお誘いを受け、苦

手ではあるけれど初めて参加することになった。スコアの言い訳のできない無風、快晴の絶好の日和。オリエンタル



GCのグリーンが美しい。同伴の方は、近藤先輩、姫路にお住まいの長谷川さんと西宮の安井さんの女性2人である。お二人とも婦人三田会の月例コンペで相当鍛えておられるようで女性ならではのやわらかいスムーズなフォームが見事である。記念写真を全員でとった後、スタートするが、ボールの頭ばかりたたいてしまい、クラブに全然あたらない。OBとチョロの連続で前半のスコアはなんと66。それでもインの18番でパーを拾い、この感触とともに後半へ。アウトの滑り出しはパー、パーとすっかり調子が出てきて、8ホール終わったところでスコアは40と私にしては上々のスコア。これを意識して最後のホールはお約束の大たたきで9、合計49でフィニッシュ。優勝はやはり対抗馬なしの芦原先輩、グロス72はほかの参加者を30以上引き離してのダントツの見事なスコア。ほとんどの人が100から110の間に納まるスコアでレベルの高さがうかがえた。捲土重来を期してまた参加だ。(記事: 徳丸公義)

# 会員の輪

井上 光会員より

前田剛資 (昭 39 工)

## ナチュラルチーズについて

エダムチーズをご存知ですか？

この6月、家内と二人で、10年に1回オランダで開かれる花博「フロリアード」に立ち寄ったついでに、有名なチーズ発祥の地、アムステルダム郊外のエダムに足を伸ばしました。広大な牧草地に囲まれ、しばらく歩くと突き抜けてしまうほどの小さな村で、それは静かなたたずまいの運河をはさんだ、きれいな村でした。

やはりチーズはこのような自然に包まれ、空気のきれいな村の農家に生まれ育ち、現在はゴーダチーズに続くオランダを代表する輸出量を誇るチーズになったようです。

さてチーズの名前には地名から来たものが多く、例えば、オランダのゴーダ、フランスのロックフォール、イギリスのチェダー、はたまたチーズフォンデュに使うスイスのエメンタール、グリュイエールなどなどたくさんあります。

ここでチーズの種類ついて少々。

先ずナチュラルチーズとプロセスチーズの2種類に分かれます。保存性を高めるためナチュラルチーズを加熱処理したのがプロセスチーズです。

次にナチュラルチーズには熟成をさせないモッツァレラ、クリームチーズと乳酸菌やカビほかで熟成させたチーズがあります。特に乳酸菌で熟成させたチーズは種類が多くエダム、ゴーダ、チェダーはこれです。この熟成チーズは多種のアミノ酸を豊富に含み、そのまま食べても、料理に使っても美味しく、うまみを演出してくれます。特に2年以上熟成するパルミジャーノレジャーノはその頂点に位置します。

どうぞナチュラルチーズをお楽しみください。

次号は、金子家隆会員(昭40経)に書いていただきます。

**会員の輪をひろげよう！**

村田幸恵会員より

川崎洋子 (昭 53 文)

## 子は親を育てる

末娘は中学2年生、バレーボール部に入っている。160センチ以上が多い中でひととき小さい。もちろんレギュラーになれない。30人の部員の中で6人だけが試合に出られる。休日は試合に行く、といってもバレーボールができるわけじゃない。下仕事をする役目である。大声で応援したり、試合の審判をしたりする。心の中で「試合にでたい、試合にでたい。」悔しくて悲しい思いをしながらそれでもやめない。1日無駄な時間を過ごしてるような気もするらしい。でもひと晩寝るとまた「バレーボールが大好き」に戻る。

末っ子なので、一番可愛かった。「かわいいわねえ」と言われながら、甘えて育った子である。日の当たる道ばかり歩かせたいのである、親としては。それがうまくいかない時、見守ることは親にとっても我慢である。それが昨日、「バンザ〜イ、バンザ〜イ」と踊りながら帰ってきた。「背番号が10番に上がった！4つも上がったのは私だけよ。」それでももちろん試合には出られない。これから一つずつ上げて、レギュラーを狙うという。

黙って見守ること、それが親の役目であると分かっている、あれこれ口出しをしたくなる。できるだけアドバンテージをこの子が社会に出るまでに与えたいと思ってしまう。子供を育てていると、忍耐力が試されてるな、と思う場面がよ次は、槌橋真美さん(昭47法)さんにトスを送りたい。



このコーナーは、リレー式に輪をつないでいくものです。前走者から指名された方は、快くお引き受けください。そして、輪を二重三重に広げていこうではありませんか。

## ～ 関西合同三田会 ～

奈良三田会主管

### 『青垣の山々に囲まれて確かめ合う社中の絆』

11 月度例会は、この会に振り替えになります。

日時：11 月 17 日 (日) 11:00～15:00

会場：天理教教会本部 (TEL: 0743-63-2519)

神戸からは送迎バスを運行いたします。ご家族お揃いで、深まりゆく秋の風情ただよう奈良をすき焼きパーティと共に楽しみください。

会費：7000 円 (バスご利用の方は別途 2000 円)

JR 三宮東「東急イン」午前 8:15 (時間厳守) すでにご案内しておりますが、まだ間に合います。どうぞお誘い合わせのうえ、多数の参加をお待ちしています。



### 東京三田倶楽部との交流懇親会

本年 4 月に会員有志が帝国ホテル地下にある東京三田倶楽部にお邪魔をして盛大な歓迎を受け、翌日は霞ヶ関 KC でゴルフを楽しみました。

秋には東京三田倶楽部の皆さんが「神戸に行って皆様と親しく懇談したい」とのことでしたが、来る 11 月 22 日 (金) に約 10 名の方々が来られることになりました。当倶楽部では、ぜひとも皆様を歓迎したいと思います。22 日の 18 時 30 分から倶楽部ルームにおいて「交流懇親会」を開催したいと思います。そして懇親会はいつもの通り、「十五番館」で美味しい料理をいただきたいと思ひます。ひょっとしたら学生時代の友人や先輩後輩に会えるかもしれません。ぜひ多数のご参加をお待ちしております。

なお、ゴルフは 22 日に廣野 GC、23 日はオリエンタル GC で懇親コンペを開催いたしますので、まだお申し込みでない方は、芦原直哉 会員まで直接ご連絡をお願いします。

## 第 168 回福澤諭吉先生誕生記念祝賀会

主催：大阪慶應倶楽部

講演：慶應義塾 安西祐一郎塾長

日時：平成 15 年 1 月 10 日 (金) 18:30～21:30

会場：帝国ホテル大阪 3 階 エンパイアルーム  
(大阪市北区天満 1-8-50 TEL: 06-6881-1111)

JR 環状線・桜ノ宮駅西出口より徒歩 5 分

JR 大阪駅中央北口より無料シャトルバス運行

<http://www.imperialhotel.co.jp>

会費：大阪慶應倶楽部会員並びに関西合同三田会会員は 8,000 円 (平成 5 年卒業以降の各会員は 5,000 円) ビジターは 9,000 円

参加ご希望の方は、大阪慶應倶楽部事務局に、直接お申し込みください。(別紙参照)

## ～ 今後の行事予定 ～

12 月度例会・忘年会：12 月 21 日 (土)

神戸ポートピアホテル 6 時から

2003 年度賀詞交換会：1 月 6 日 (月)

11 時から 5 時まで 倶楽部ルーム

1 月度例会：1 月 22 日 (水) に変更になりました。度々申し訳ありません。こちらが最終決定の開催日です。書き換えをお願いします。

場所：倶楽部ルーム・懇親会は十五番館

2 月度例会：2 月 21 日 (金) 倶楽部ルーム

3 月度例会：3 月 26 日 (水) 御影蘇州園

4 月度例会：4 月 22 日 (火) 倶楽部ルーム

2003 年度総会：5 月 16 日 (金) 場所未定

各例会の詳細につきましては、BRB・メールマガジン等でお知らせしますので、毎月ご覧ください。

大和多を楽しまたい。	のぼる。多変を忘れた。	○まの速さは月は西合同三田会、里で柿くえ	み見されで移りゆく今年秋を実感しな	散見され裏六甲の彩りに、新快感が	紅葉がはやくも山裾にきて、翌日は、	盛会のうち終り、味よし湯よしで	○十月の例会は、	お願ひします。	お陰で、毎月発行の運びが、続いております。	○B目押し、会員の皆さんの季節です。	○行事も、白押し、皆さんの季節です。	なけんと、行われない季節です。	か、迷われない季節です。	○編集後記 『秋』真つ盛り。どこに
------------	-------------	----------------------	-------------------	------------------	-------------------	-----------------	----------	---------	-----------------------	--------------------	--------------------	-----------------	--------------	----------------------